



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社FJネクストホールディングス

コード番号 8935 URL <https://www.fjnext-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 恵輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山本 辰美 TEL 03-6733-7711

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	31,494	31.8	3,022	136.4	3,001	136.1	2,057	143.4
2025年3月期第1四半期	23,890	14.2	1,278	△0.7	1,271	△1.2	845	3.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,055百万円 (152.7%) 2025年3月期第1四半期 813百万円 (△2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	62.85	-
2025年3月期第1四半期	25.84	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	107,001	73,995	69.2	2,260.69
2025年3月期	105,477	72,922	69.1	2,227.90

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 73,995百万円 2025年3月期 72,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	24.00	-	30.00	54.00
2026年3月期	-	-	-	-	-
2026年3月期(予想)	-	28.00	-	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当24円00銭 特別配当4円00銭 記念配当2円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	11.2	9,600	1.2	9,600	1.5	6,600	1.8	201.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	34,646,500株	2025年3月期	34,646,500株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,915,115株	2025年3月期	1,915,115株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	32,731,385株	2025年3月期1Q	32,713,686株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、物価上昇の継続及び米国の通商政策の影響などによる不透明な先行きが、我が国の景気を下押しするリスクに引き続き留意する必要があります。

首都圏のマンション市場においては、施工費や用地費の高騰を背景に2025年上半期（1～6月）のマンションの新規供給戸数は前年同期比11.2%減の8,053戸に留まりました。また、購入需要についても、同期間の平均初月契約率が66.6%と、好調の目安と言われる70%を上期では2年連続下回るなど、高値圏が続く販売価格に対し、消費者の慎重な姿勢が継続しております。（数字は株式会社不動産経済研究所調べ）

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場においては、単身者を中心とした首都圏の賃貸需要は底堅く、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、堅調な状況が続いているものと認識しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用としての多彩なメリットを提供する単身者向けの資産運用型自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」及びファミリー層向け自社ブランド「ガーラ・レジデンスシリーズ」の開発を進め、活況な中古マンション市場への適応、顧客サポート体制の充実やブランド力の強化を図ることで、グループ企業価値の向上に尽くしてまいりました。

こうした結果、売上高314億94百万円（前年同四半期比31.8%増）、営業利益30億22百万円（前年同四半期比136.4%増）、経常利益30億1百万円（前年同四半期比136.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益20億57百万円（前年同四半期比143.4%増）となりました。

(不動産開発事業)

「ガーラ川口グランドステージ（2025年3月竣工）」、「ガーラ・グランディ元住吉（2025年4月竣工）」、「ガーラ・レジデンス桜ヶ丘（2025年9月竣工予定）」などの新築マンションの営業展開に注力するとともに、中古マンションの販売も積極的に行ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間における新築マンション売上高は58億3百万円（212戸）、中古マンション売上高204億57百万円（726戸）、不動産賃貸収入15億3百万円、その他収入1億34百万円となり、不動産開発事業の合計売上高は278億99百万円（前年同四半期比31.5%増）、セグメント利益26億58百万円（前年同四半期比171.1%増）となりました。

売上高等内訳

区分	前第1四半期連結累計期間 自 2024年4月1日 至 2024年6月30日			当第1四半期連結累計期間 自 2025年4月1日 至 2025年6月30日		
	戸数 (戸)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	戸数 (戸)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
ガーラマンションシリーズ	0	—	—	211	5,756	—
ガーラ・レジデンスシリーズ	0	—	—	1	47	—
中古マンション	725	19,617	156.4	726	20,457	104.3
不動産賃貸収入	—	1,494	95.7	—	1,503	100.6
その他収入	—	111	787.7	—	134	120.6
合計	725	21,222	119.8	938	27,899	131.5

(注) マンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

(不動産管理事業)

自社グループ開発物件の新規管理受託や外部受注等を進め、賃貸管理戸数は19,585戸、建物管理棟数は373棟(25,332戸)となりました。

当第1四半期連結累計期間における不動産管理事業の売上高は10億63百万円(前年同四半期比2.1%増)、セグメント利益2億83百万円(前年同四半期比0.2%増)となりました。

(建設事業)

主力のマンション建設は、工事件数の増加により売上、利益ともに前年を上回って推移しました。

当第1四半期連結累計期間における建設事業の売上高は22億48百万円(前年同四半期比68.3%増)、セグメント利益1億30百万円(前年同四半期比160.1%増)となりました。

(旅館事業)

伊豆エリアにおいて、低価格帯の宿へシフトする旅行者の傾向が見られ、運営旅館の客室稼働率は想定を下回りました。

当第1四半期連結累計期間における旅館事業の売上高は2億73百万円(前年同四半期比2.5%減)、セグメント損失54百万円(前年同四半期は39百万円の損失)となりました。

(その他)

当第1四半期連結累計期間の売上高は10百万円(前年同四半期比0.0%減)、セグメント利益5百万円(前年同四半期比11.3%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は943億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億52百万円増加いたしました。主な増加は、現金及び預金39億10百万円、仕掛販売用不動産22億42百万円、受取手形、営業未収入金及び契約資産13億87百万円であり、減少は販売用不動産60億40百万円であります。固定資産は126億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。

この結果、総資産は1,070億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億23百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は161億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億円増加いたしました。主な増加は、未払金6億24百万円、1年内返済予定の長期借入金6億円であり、減少は未払法人税等10億87百万円であります。固定負債は168億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億49百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は330億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億50百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は739億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億73百万円増加いたしました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益20億57百万円であり、減少は剰余金の配当9億81百万円であります。

この結果、自己資本比率は69.2%(前連結会計年度末は69.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日発表の「2025年3月期 決算短信」に記載の予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,468	28,378
受取手形、営業未収入金及び契約資産	6,439	7,826
販売用不動産	16,414	10,374
仕掛販売用不動産	43,324	45,567
未成工事支出金	1	12
原材料及び貯蔵品	37	32
前渡金	297	396
その他	1,795	1,744
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	92,778	94,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,478	7,486
減価償却累計額	△2,104	△2,162
建物及び構築物（純額）	5,374	5,324
土地	5,509	5,509
その他	481	556
減価償却累計額	△391	△399
その他（純額）	89	157
有形固定資産合計	10,973	10,991
無形固定資産	34	33
投資その他の資産		
投資有価証券	299	305
繰延税金資産	519	412
その他	882	935
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	1,691	1,645
固定資産合計	12,699	12,670
資産合計	105,477	107,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,197	1,988
1年内返済予定の長期借入金	6,500	7,100
未払金	494	1,119
未払法人税等	1,989	902
未払消費税等	191	515
預り金	2,979	3,062
賞与引当金	364	123
その他	1,123	1,330
流動負債合計	15,841	16,142
固定負債		
長期借入金	11,730	11,850
長期未払金	833	833
退職給付に係る負債	815	813
長期預り敷金保証金	1,989	1,994
長期預り金	90	118
企業結合に係る特定勘定	1,253	1,253
固定負債合計	16,713	16,863
負債合計	32,555	33,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	3,078	3,078
利益剰余金	68,074	69,149
自己株式	△1,182	△1,182
株主資本合計	72,745	73,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	58
退職給付に係る調整累計額	122	116
その他の包括利益累計額合計	176	174
純資産合計	72,922	73,995
負債純資産合計	105,477	107,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	23,890	31,494
売上原価	20,049	25,544
売上総利益	3,841	5,949
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	461	561
給料手当及び賞与	941	1,070
賞与引当金繰入額	92	104
退職給付費用	23	16
その他	1,045	1,173
販売費及び一般管理費合計	2,563	2,927
営業利益	1,278	3,022
営業外収益		
受取利息	0	4
受取配当金	0	0
違約金収入	2	5
助成金収入	0	-
その他	4	8
営業外収益合計	7	18
営業外費用		
支払利息	12	37
その他	2	2
営業外費用合計	15	40
経常利益	1,271	3,001
税金等調整前四半期純利益	1,271	3,001
法人税、住民税及び事業税	277	836
法人税等調整額	148	107
法人税等合計	425	944
四半期純利益	845	2,057
親会社株主に帰属する四半期純利益	845	2,057

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	845	2,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	3
退職給付に係る調整額	△2	△5
その他の包括利益合計	△31	△1
四半期包括利益	813	2,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	813	2,055
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 開発事業	不動産 管理事業	建設事業	旅館事業	計				
売上高									
新築マンション売上高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中古マンション売上高	19,617	-	-	-	19,617	-	19,617	-	19,617
その他	111	989	1,335	280	2,717	-	2,717	-	2,717
顧客との契約から生じる収益	19,728	989	1,335	280	22,334	-	22,334	-	22,334
その他の収益(注) 4	1,494	52	-	-	1,546	10	1,556	-	1,556
外部顧客への売上高	21,222	1,041	1,335	280	23,880	10	23,890	-	23,890
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	87	14	8	114	-	114	△114	-
計	21,226	1,128	1,350	289	23,995	10	24,005	△114	23,890
セグメント利益又は損失(△)	980	283	50	△39	1,274	4	1,278	△0	1,278

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融サービス事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去△341百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益400百万円及び全社費用△57百万円、棚卸資産及び固定資産の調整額△1百万円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に連結子会社から当社への配当金の消去であり、全社収益は上記受取配当金、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 開発事業	不動産 管理事業	建設事業	旅館事業	計				
売上高									
新築マンション売上高	5,803	-	-	-	5,803	-	5,803	-	5,803
中古マンション売上高	20,457	-	-	-	20,457	-	20,457	-	20,457
その他	134	1,014	2,248	273	3,671	-	3,671	-	3,671
顧客との契約から生じる収益	26,395	1,014	2,248	273	29,932	-	29,932	-	29,932
その他の収益(注) 4	1,503	48	-	-	1,551	10	1,561	-	1,561
外部顧客への売上高	27,899	1,063	2,248	273	31,484	10	31,494	-	31,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	88	76	5	175	-	175	△175	-
計	27,903	1,151	2,324	279	31,660	10	31,670	△175	31,494
セグメント利益又は損失(△)	2,658	283	130	△54	3,018	5	3,023	△1	3,022

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融サービス事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1百万円には、セグメント間取引消去△1,998百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益2,036百万円及び全社費用△36百万円、棚卸資産及び固定資産の調整額△1百万円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に連結子会社から当社への配当金の消去であり、全社収益は上記受取配当金、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	85百万円	87百万円